

資料Ⅱ 派遣専門家・協力隊員の考える望ましい
経済技術協力の分野

アフリカ諸国在勤経験のある専門家・協力隊員が考える望ましい経済協力の分野の案件数一覧表

分野 国名	① 農林業	② 水産業	③ 鉱工業	④ 運輸	⑤ 通信	⑥ 上下水道	⑦ 住宅	⑧ 水資源 エネルギー	⑨ 教育	⑩ 医療・ 保健	⑪ 文化・ 研究	⑫ その他	計
1 ケニヤ	29	7	14	7	3	6	3	2	13	20	4	1	109
2 タンザニア	30	4	18	11	7	1	1	5	4	11	4	7	103
3 マラウイ	14	1	5	6	1	1	2	3	9	7		1	50
4 ザンビア	25		6	4	1				5	2			43
5 ザイール	8	3	1	10					1		2	1	26
6 ウガンダ	5	1	4	2	1				2		1		16
7 ガーナ	3		4	2				1	2	7			19
8 エチオピア			1			1				2			4
9 ナイジェリア	1		2	3	3			4		8	1		22
10 中央アフリカ	1		1										2
11 象牙海岸		1											1
12 リベリア	1									1	2		4
13 マリ	2												2
14 モーリタニヤ	2	3	1	2					1				9
15 ニジェール	2												2
16 ルワンダ	2	1	2	4	2						2		11
17 セネガル	1		0	1							1		4
18 ソマリア		2	1	1								1	6
19 スワジランド			7						3	4			14
計	126	23	67	53	18	9	6	15	40	62	17	11	447

ケニア在勤経験のある専門家・協力隊員が考える望ましい経済協力の分野

分野	案件名	所在地	説明	意見提出者	
				専門家	協力隊員
1 農林業	農業分野全般				
	農業に対する技術協力		国民が一日三食まともに食べられるようにすることこそ大事である。農業国としてその技術の向上を促進せねばならない		農業
	農業開発に対する技術協力		アフリカは農業立国が多く、技術（特に工業技術）援助より農業援助の方が、将来の食糧問題によりプラスとなる	電気	
	農業の広域化に対する技術協力		近代化ではない。金のかかる機械化ではなく、地道な農業広域化を図り、農業立国として推進していく		農業
	農業の質的向上に対する技術協力および資金援助		日本の農業ダム技術を導入すれば、サバンナでも農地となる	医師	
	灌漑施設を作る	タナリバー、アンイリバー、等可能地域			農業
	灌漑設備に対する資金援助		いずれも巨大な資金を必要とし、現地国だけでは不可能と思われる	医療	
	灌漑用ダム	全地域			運輸
	ダム建設のための資金援助		多大な資金の必要な農業基盤を築くため		農業
	農業技術指導を伴う灌漑に対する技術協力		田畑の造成から農業指導 その作物の買取りまで責任をもつて行い		造薬
	河川地区に灌漑用水路を作り、土地改良に対する技術協力				教師
灌漑		灌漑を整備し、農業従事者を増加させ、雇用機会を増大させること		運輸	
治水事業に関連する技術協力		灌漑さえ良ければ、作物の増収が目に見える	医療		
北部地下水開発に対する資金援助		同地区は現在、人口が非常に少ないのであるが、半砂漠の状態にあり、これをルドルフ湖、ウイクトリア湖、タナ川等の揚水を含む灌漑、また井戸を掘り、地下水を得ることができれば、それで農業を行え、人口も次第に増加し、現在の片寄りの是正を行える	運輸		

分野	案件名	所在地	説明	意見提出者	
				専門家	協力隊員
(農林業)	畑地利用に対する技術協力		ケニアの広大な畑地の一層の活用が可能		柔道
	土壌改良のための植物を増やすプロジェクト	タナリバー、アンイリバー等可能地域			農業
	農林業 — 特に米(稲)作に対する技術協力		米の品質が悪く、収量が少ない(ケニア人にとって現在高級な食べ物である)食生活の改善が期待できる		運輸
	農作物の有効な大量収穫に対する技術協力				教師
	綿花栽培、サイザル麻の栽培およびその製品化に対する技術協力				教師
	農業試験場に対する援助と共同研究	ケニア高地	特に育種関係		農業
	農業技術指導・農業高校				建築
	農業専門学校 (college)	モンバサ、オスム	奨学生とし、卒業後数年は地方で実地指導を行わせる		教師
	ビクトリア湖付近に農地開発プロジェクト	ビクトリア湖	専門家数名と協力隊員数十名		土木
	蚕糸センター	テイカ			農業
	蚕糸開発センターの実現に対する技術協力		ケニアの気候は年間養蚕を行うのに適しており、湿度も低いため優良なマユが得られることが明らかである		農業
	農業機械・肥料などに対する資金援助				電気
	酪農に対する技術協力		牛は殆んど放牧であり、これを改善することにより、食糧問題もかなり良くなる		機械
肥料・農機具に対する資金援助				柔道	
林業に対する技術協力		現地人の土地所有の平均化を図る。もしくは国家の作業員としてのサラリーマン化を図る。まず土地の人達の労働力の活用を図ることが必要。人ばかりでなく遊休土地、砂漠化させない土地を計画的に作る必要がある		教師	

	分野	案件名	所在地	説明	意見提出者		
					専門家	協力隊員	
2	水産業	水産業に対する技術協力		水産専門家、特に相手国水産局などにおけるアドバイザーなど水産分野の実施担当面の協力。企画立案の充実。指揮系統の確立。適切な方法論の理解、説得		水産	
		水産業・漁具の普及に対する技術協力		水産業では漁具の普及を促進し、漁民に経済観念の保持を指導し、マネージング可能にする。さらに漁民に組織化の重要性を教育する		水産	
		沿岸漁業の開発	モンバサ				水産
		漁業指導	海岸一円		回遊魚を対象に大型・小型漁具を使用し、それぞれの漁業従事者に指導普及する		水産
		沿岸漁業モデル漁村	マリンデ またはラム		ケニア沿岸の漁村としてはスケールの大きい左記のどちらかの漁村を選び、必要な機能を備えた近代モデル漁村を設立する。当モデル漁村が包含する分野は次の通り： 1) 漁撈…5トン型ディーゼルエンジン35～50馬力付漁船10隻。沿岸漁具2～3種。専門家2名（内機関担当1）、協力隊4名（内機関担当2） 2) 加工…小型加工工場（くんせい）その他の加工ができる程度で製缶は当初は必要なし。冷凍冷蔵庫（小型）、冷凍運搬トラック2台、専門家1名、協力隊2名。 3) 漁業協同組合…専門家1名、協力隊1名 4) 漁民研修所…専門家1名、協力隊3名 5) 将来は海面養殖も手掛ける		水産
		機関・漁具等の資機材に対する資金援助			冷蔵施設、棧橋、冷凍運搬車等の供与		水産
		水産高等学校	モンバサ、マリンデ地区	隊員及び専門家		水産	
3	鉱工業	石油パイプラインの延長	ナイロビキスム			通信	
		木工団地	ナクール			行政	
		水撃ポンプの設置	ケニア山周辺			機械	
		自転車の普及	農業中心地域			運輸	

分野	案件名	所在地	説明	意見提出者	
				専門家	協力隊員
(鉱工業)	生活用品の自給のための工場建設に対する資金援助		台所用品、雑貨等、鍋、鎌、マジック一本まで輸入しており、これらの工場を作る技術は潜在的にあると思うので、資金が必要	機械	
	技術分野全般に対する技術協力		工業関係の技術者を日本に招いたり、日本の技術者を派遣する		機械
	職業訓練所の設立に対する技術協力		各種技術技能を養成するための職業訓練学校を設立し、各産業での中堅者を育成しなければ国の発展は望めない		水産
	職業訓練所の設立とそれに付属する就労場所の確保に対する技術協力		人々(金銭的に貧しい人)は小さい頃から羊飼いのなどの農作業をし、そのまま成人する状態であつて、回りから何か技術的な事柄を吸収しようにも機会もなく、また技術を習得する金もなく、場所もない		
	職業訓練所	タイタータベタ、ボイ地区	自動車コース全般、3~4年コース、Form II 卒業者を対象とする。卒業後は現場に入ってもらい。訓練所にカレッジを併設する。少人数で		運輸
	職業訓練指導員養成施設	ナイロビ		機械	
	技術専門校の設立				土木
	NYS 訓練センター	ナイロビ	電子コース	電気	
	クラフト訓練センター	モンバサ等 首都を除く 第2, 第3 の都市	電子コース, 電気コース, 自動車整備コース		電子
	Village Polytechnic に対する資金援助		ビレッジ・ポリテクニクといつて村に小さな訓練所がいくつもあるが、資金不足のため皆つぶれかかっている		機械
4 運輸	鉄道に対する技術協力		現在、モンバサ-ナイロビ間約500kmを10時間かかつて走るとのこと。モンバサ-ナイロビ-ナクル-キスム間の列車のスピードアップと輸送力の強化は大きな経済効果を生むに違いない	機械	
	鉄道の効率化運営	モンバサ-カンバラ			通信
	通勤電車路線	ナイロビ		運輸	

	分野	案件名	所在地	説明	意見提出者		
					専門家	協力隊員	
	(運輸)	都市交通の整備に対する技術協力 道路建設に対する技術協力 道路建設に対する資金援助 道路に対する技術協力		さらに市場との緊密化を図る ジャパン・ロードと呼ばれるような500km位の道路を作る 政府の予算がある期間はいいが、予算がなくなると仕事がなくなると聞く	土木 土木	教師 土木 通信	
5	通信	電話ケーブルの整備・取替 電気通信 電気通信訓練機関の拡大強化	ナイロビ ケニア全土 ナイロビ			通信 通信 通信	通信
6	上下水道	上下水道に対する技術協力 上下水道施設建設に対する資金援助 地下水道の建設 モンバサ地区に飲料水を供給 上水道研修センター Mzima バイブライン	全国 ナイロビ ナイロビ モンバサ, Mzima Spring	政府も施設の拡充に努めているところであるが、技術者の絶対数が不足しているため、プロジェクトの設計等の進捗状況は順調でない 上下水道施設建設：プロジェクトの数が非常に多く、政府予算もかなり費やしているが、まだまだ資金が必要である。	土木 土木 土木 土木	土木 土木 土木	土木 土木
7	住宅	集合住宅団地の建設 役人官舎 専門家派遣に対する技術協力	ナイロビ ナイロビ	建築設計および関連技術者		建築 建築 建築	建築 建築 建築
8	水資源・エネルギー	水資源利用技術に対する技術協力		ダム、イリゲーションボード、用水			機械

分野	案件名	所在地	説明	意見提出者	
				専門家	協力隊員
(医療・保健)	医療に対する技術協力	ナイロビ	全体として不足している		土木
	同上		現地の人々が必要としている	医師	
	同上		医者は外国人が殆んどであり、本当に親身になつてくれる医者は少ない	機械	
	医療に対する資金援助		いずれも巨大資金を必要とし、任地国だけでは不可能と思われる	医療	
	同上		施設を作るだけでなく、医師の確保や看護婦の教育まで。産児制限の推進、風土病の撲滅		農業
	医療技術に対する技術協力		医療設備は整備されてきているが、技術的なレベルは低い		電子
	基礎医学研究とその応用に対する技術協力		特に公衆衛生指導、ワクチン技術の改良と新たな製造施設に対する技術協力。 基礎医学・ワクチン学。 この国に於ける基礎医学の研究は、もちろん研究施設も日本の20年前の状態である。 東アフリカで本政府が最も安定しており、世界水準の基礎医学の研究が可能になれば、この国にとって非常に有益である。また、危険病原体の診断は、現状では、米国や英国に材料を送つて診断をつけてもらう有様では時間がない	医師及び医療	
	ケニア医学研究所の設立に対する資金援助		基礎医学研究所附属施設としてワクチン施設、患者隔離棟の設立に対する資金援助も。 具体的に言うと、はしかワクチンを普及させてもおはしかの流行がある。一体何故か、根本的に調べる必要がある。その他はこの一事で撤廃されよう。この様な問題を扱う基礎研究所は、この国だけに用されるのではなく、アフリカ全体に及ぼされるであろう。また危険病原体は、スーダン、コンゴなど熱帯雨林に潜んでいて、何時流行するか予測しえない。これらに対応するためにも研究施設、患者の隔離棟は東アフリカの一角にせひ必要である	医師	
	感染症の撲滅とファミリー・プランの推進に対する技術協力及び資金援助		疾患の大部分は感染症(細菌、原虫、寄生虫)であることと、人口の急速な増加を除く必要がある	医師	
	危険病原体実験施設及び患者隔離室			医師	

分野	案件名	所在地	説明	意見提出者	
				専門家	協力隊員
(医療・保健)	病院設立	医療設備の近く	検査施設の完備したもの	医師	建築
	同上	ナクール	医師を日本から今まで(6人位)の人員より20人位に増員	看護婦	
	病院				
	病院拡大に対する資金援助		ベッドの絶対数の不足(日本の本州の広さで250床の州立病院1つ)	医師	
	リフトバレー州立病院の拡大強化	ナクール		医師	
	診療所ネットワークの建設	大都市以外の小さな町		機械	
	看護婦学校設立	・	看護婦を日本より派遣。過去6名位の人員から20名位に増員	看護婦	
メデイカル・アシスタント養成所	・		医師		
11 文化・研究	図書館設立	ナクール		看護婦	乗道 鉱山 運輸
	体育館に対する資金援助				
	地震観測所の設置	国内に2~3ヶ所		鉱山	
	自然保護に対する技術協力		観光国として成り立たせると共に、文明による自然破壊の防止	運輸	
12 その他	大量の日本人移住プロジェクト		日本政府がケニア政府と交渉し、その国土の一部を日本人移住者に貸し与える。日本政府はボランティア・スピリットに富んだ日本人の大コミュニティ(医師、教師、農業、商業、技術者等全ての構成員からなる)を作るため、財政的援助を長年続ける。そしてコミュニティに現地ケニア人を吸収し、ケニアの発展を促す。	電子	

タンザニア在勤経験のある専門家・協力隊員が考える望ましい経済協力の分野

	分野	案件名	所在地	説明	意見提出者		
					専門家	協力隊員	
1	農林業	農業関係に対する技術協力		タンザニア政府の方針に合致しており、かつ国民の一番関わりの深い分野である		農業	
		農業振興のための技術協力		この国の基幹産業となるものであると思われる		獣医	
		農業振興のための資金援助					獣医
		適切な場所を選定した食料生産振興のための農業開発	キロンベロ、ウアリー			土木	
		水利工事プロジェクト	ヴィクトリア湖-タボラ	ヴィクトリア湖の水をタンザニア中心のタボラ地区まで水利工事し、農業地帯にしてはどうか			行政
		水利工事(灌漑設備)に対する技術協力		愛知用水など日本はすぐれた技術がある			園芸
		水利工事のための資金援助		莫大な金額になるとと思われるから日本からの援助が必要			園芸
		ルブ河下流域土地改良計画	コスタージョン州	ルブ河はキリマンジャロ州にもあるが、これは首都近くの河。但し、この案件は小生だけの考えで、先方の意見等も聞く要あり。この下流域は雨季は洪水となり、多くの水を海に捨てている。ここを土地改良、灌漑をすれば、数千ヘクタールの水田造成と、首都ダレスサレムへの用水供給が可能になるとと思われる。交通の要衝であり、宣伝効果も大きい。日本の技術をもつてすれば、極めて容易と思われる		農業	
		灌漑事業のための各種調査と現地農業学校の設立に対する資金援助		国には経済力がない			農業
		灌漑事業のための水源確保、その全体調査、F/S調査、及び実施設計に対する技術協力		現地国では実施し得ないだろう			農業
灌漑施設の完備	キリマンジャロ州モン市				農業		
灌漑施設	ムワンザ地区	ビクトリア湖の水利用			農業		
同上	イリンガ	畑用			農業		

分野	案件名	所在地	説明	意見提出者	
				専門家	協力隊員
(農林業)	灌漑排水事業	南西部地区 から中央部へ			農業
	タノ池	ムトワラ			農業
	ビクトリアの水利用による農耕地の安定的確保	ビクトリア湖周辺			農業
	稲作村の設置	ウエストレイク			農業
	農業試験機関及び普及機関設立に対する技術協力		この場合灌漑施設の整備が前提となる。乾燥農業(天水利用)の検討も必要。 この国は資源に乏しく、農業以外に可能性のある産業もない。	農業	
	農業試験場の充実、普及組織の確立	キリマンジャロ州 モシ市			農業
	ムワンザ地区農場	ムワンザ地区 ビクトリア湖畔			行政
	農業指導者の養成と農産物加工技術の指導に対する技術協力		技術者が不足している		農業
	農業教育プロジェクト	全国各地	農業学校		農業
	工業高校設立	モロゴロ地区	食品加工コース FormI からIVまでの6年教育		化学
	農機修理技術・施設の援助	イリンガ			農業
	大型農機具	モロゴロ			医療
	農産物流通システム		北部地方から南部地方へ不足農産物を送る		農業
	ジュース工場	タンガ	マンゴー、オレンジ		医療
	畜産関係技術・施設の援助	イリンガ			農業
植林に対する技術協力		土地は余っており植林が成功しているのが見られる		教師	
森林の造成に対する技術協力		水源涵養林として		農業	

	分野	案件名	所在地	説明	意見提出者	
					専門家	協力隊員
2	水産業	漁業に対する技術協力		資源はないが、海を持つている国なので、漁業をもつと発展させることが可能である		運輸
		養殖	キリマンジャロ山麓、メルー山麓	マス等の淡水魚	運輸	
		魚缶詰小工場	ザンジバル	専門家2名、協力隊員2名	運輸	
		かまぼこ生産	モン			行政
3	鉱工業	地下資源開発調査	タンザニア全域			運輸
		軽工業に対する技術協力		農業を効率的に維持するために必要な工業開発及び工業製品の輸入依存度を減少させるため	化学	
		ムフインディ都市開発	ムフインディ	ダム建設、パルプ工場建設		建築
		板ガラス生産に対する技術協力		原料は現地にあるので、生産に入ることができれば、製品輸入に頼る後進国の外貨節約に役立つ		行政
		自転車、オートバイ製造				農業
		家具生産	モン			行政
		木工・金工に対する技術協力		近代工業の開発はむずかしいため		教師
		電球・蛍光灯	モン			行政
		缶詰工場	ダルエスサラーム			医療
		ソーセージ生産	モン			行政
		各種原動機の実物教材供与に対する資金援助		製造能力もなく、またその資金もない	運輸	
		工業高校設立	ムカンザ地区	繊維・染色コース、Forml から IV までの6年教育	化学	
		総合職業訓練所	ダルエスサラーム	電気・自動車・機械・農業等	運輸	
		職業訓練所		女性の洋裁手芸も含め、機械一切の修理コースも欲しい		洋装
職業訓練所		木工・金工等		教師		
自動車修理訓練所に対する技術援助		エンジニア及び修理工場が不足している	土木			

	分野	案件名	所在地	説明	意見提出者	
					専門家	協力隊員
	(鉄工業)	機械分野の職業訓練所 原動機分野を主とした職業訓練校への人員派遣に対する技術協力	ザンジバル	陸上関連(ガソリン機関, ディーゼル機関), 水産分野(漁船機関) 原動機分野は最も必要とされるにも拘わらず, 現地工場に於いては余りにもレベルが低い	運輸 運輸	
4	運輸	鉄道の改良 タンザニア鉄道公社 港務施設の改良 港務, 練習船, タグボート, サンパンに対する資金援助 道路建設 道路に対する資金援助 道路 橋架に対する資金援助 橋 船員教育に対する技術協力 船員訓練センター	ダルエスサーキョマ, タボラムワンザ ダレスサームキョマ {ムワンザ ダルエス港 アールシヤ モザンビーク・タンザニア国境 ムンマ地区マラ川 ザンジバル	複線化等 乗客, 貨物輸送が麻痺状態であるため, 鉄道の部分的複線化と, 貨車, 客車の増加と共に, 運行スケジュールの作成の技師(エキスパート)が必要 船舶収容力, 取扱荷物量の改善 ベンバ島を含め, ザンジバル国は海洋国家として発展せざるを得ない。6隻の船舶を円滑に運行する必要がある ダルエスサーム—ムトラ—ノングア—ムベア 経済効率の向上 世界有数の自然公園に行く道 将来東アフリカはケニアを中心とする資本主義, タンザニアを主とする社会主義に色わけされ, タンザニア, モザンビーク, ザンビア, ロードシア等て共同体を造るであろうから 現在フェリーのみ, 川幅約50m 日本船が3隻, 他の船舶が3隻, 計6隻となるので船員の需要がある 専門家3~4名, 協力隊員2名	人文科学 動物保護 人文科学 運輸 化学 農業 運輸 土木 運輸 運輸	
5	通信	電話関係に対する技術協力 電気通信に対する技術協力 電気通信(保守指導)		先方の要望も強い	通信 通信	農業

分野	案件名	所在地	説明	意見提出者			
				専門家	協力隊員		
(通信)	テレビ局の開設に対する技術協力	ダルエスサラーム	これは近々どこかの国によつて設立されるであろうから、日本の技術を投入すれば、特に教育番組においてその効果は大であろう		運輸		
	テレビ局		タンザニア本土		電子		
	ラジオの音質の改善		現在首都のダルエスサラームからは短波放送で、地方局へラジオ電波を送っているが、赤道地帯のため、また遠距離のため、フェイディングが多くめちゃくちゃな音質である。これを搬送(キャリア・プログラミング)によつて、首都と同様な音質でタンザニア中にラジオ・サービス可能。また所によつては、電話のマイクロ網のない所がある(ソングア以外)				
	インフラストラクチュアに対する資金援助		経済活動の効率を高める 情報伝達網が整備される	化学			
6	上下水道	キリマンジャロ上水道整備	キリマンジャロ州	目下、ナショナル・プロジェクトとして計画されているが、資金難で計画が進んでいない	農業		
7	住宅	住宅に対する資金援助				医療	
8	水資源・エネルギー	水資源開発に対する技術協力	ダルエスサラーム地区 ザンビア	農業・工業すべての開発の基礎になる	化学	獣医	
		電力に対する技術協力				市中に小発電設備が散在しているので容量不足と騒音公害がある	農業
		太陽熱利用技術開発					機械
		発電設備					通信
エネルギー輸入に対する資金援助	任地国が経済的に負しいことが一つの大きな問題であるので、将来の発展のために、現在の活動力の源となるべき食糧、エネルギー、医療問題等を改善するべく物(金)による援助も早急に必要						
9	教育	教育に対する技術協力		日本のシステム・文化等を導入することによつて小貧源国として存続するための方策等を教育する	土木		

分野	案件名	所在地	説明	意見提出者	
				専門家	協力隊員
(教育)	教育に対する技術協力		社会のあらゆる分野、レベルでの有能な人材の開発が発展の基盤となるから	化学	
	教育・訓練のための技術協力および資金援助		日本の近代の歴史をみてもわかるように、国の将来は次の世代の教育にかかっていると思う。しかし発展途上国に於いてはそのための技術や施設や資金が不足しているというのが現実だと思ふ		通信
	学校に対する資金援助		施設・教師にも不足		農業
10	医療・保健				農業
	保健衛生に対する技術協力		マラリア撲滅対策も含む個々の家庭に対する指導はできて、大規模に総合的な衛生面の向上は行われていない		土木
	都市衛生に対する技術協力				
	医師の育成に対する技術協力		教育スタッフの派遣・指導 タンザニアの医療はきわめて貧弱で医療を求めるといへども拘わらず、近代的な病院は少なく、医学部での医師養成も遅れている	医療	
	医師育成	ダレスサラーム	大学医学部	医療	
	医者・看護婦の派遣に対する技術協力		無医村がきわめて多い		洋裁
	病院・防除対策(散布、薬品など)に対する資金援助		国家は食糧生産が第一義(現実的な生産が期待できる)。一方病気の原因、即ち蚊防除等によつては具体的な利益として手に行ふことができない。従つてその余裕も少ないと考えられる		土木
	病院・診療所建設、薬品に対する資金援助		患者は多いが、数少ない病院、また診療所は常に炎天下の中で待つている人で一杯。薬品も少なく、病気が多い		洋裁
	病院設立に対する資金援助		現地の医療費が非常に高く、大衆に役立っていない。安価な診療と安価な薬品の提供が可能で病院が設立されれば民生向上に大いに役立つ		行政
	大学医学部と病院建設に対する資金援助		ダレスサラーム大学のメインキャンパスは近代的な建築物で、英国、西ドイツ、スイス等の援助で、設立されたものだが、医学部は厚生省立病	医療	

	分野	案件名	所在地	説明	意見提出者	
					専門家	協力職員
	(医療・保健)	病院建設(大学医学部の建設) 歯科診療所	ダルエスサラーム モシ	院に間借りしている。医学部建設の予定地はあるが、資金がない	医師 行政	
11	文化・研究	マハレ国立公園設立 自然保護(国立公園等) 動物保護に対する資金援助 研究機関の設立に対する技術協力	キゴマ州	観光は外貨獲得のための重要な手段 他国では、我々が教えることより学ぶことの方が圧倒的に多い。特に熱帯での病気、そこに適応した家畜の生理、そしてそれを管理する人間等、これらを理解することなく金だけ出してても真の援助とは言えない。我々が彼らと共に学び、その中で教えることは、教えられることであるというような実際の現場と結びついた研究機関の設立を望む	動物保護 人文科学	農業 獣医
12	その他	地域貿易法人 キリマンジャロ付近の開発に対する資金援助 キリマンジャロ・プロジェクト キリマンジャロ開発 援助商品の交換パーツ補充 ドドマ・プロジェクト(首都移転計画)に対する資金援助 食料輸入に対する資金援助	ブルーンヤ モシ	タンザニアにおいては、RTCの無能なため、流通に大混乱が起つている。需要・供給に計画性を持たせるため、コンピュータシステムを導入する。そのため、エキスパートを派遣 自然の有効利用を図る 農業・病院等総合的 何か記念となる大きな建物・施設の供与。ブラジリアと同じ構想で大計画をたてたが、資金難で行詰っている。ここに記念となるものを供与すれば、後世まで日本の援助が残ることになろう。百億円以上のもの。無償供与が望ましい	動物保護 教師 農業 農業 建築 農業 通信	

マラウイ在勤経験のある専門家・協力隊員が考える望ましい経済協力の分野

	分野	案件名	所在地	説明	意見提出者	
					専門家	協力隊員
1	農林業	農業に対する技術協力		資源に乏しく生活水準が低い、自給するまでに至っていない		医師
		農林業関係に対する技術協力		農業国であり、アフリカの中でも降雨に恵まれ、生産性も高い。援助効果も期待できる	農業	
		農地の灌漑設備に対する技術協力		雨期、乾期のはつきり分かれる現地では農耕は、雨期しかできず、乾期は大多数の農民が遊んでいる状態である。灌漑で農地を潤し、周年耕作を可能にすべきである。		統計
		灌漑施設作り	マラウイ	マラウイ湖水を利用する		土木
		同上	湖周辺			運輸
		同上	北部			土木
		同上	シレ川沿岸	農業用		土木
		灌漑プロジェクト	Margochi	マラウイ湖水をポンプアップして、灌漑施設を含む米作を行う、但しこれには十分な予備調査が必要であり、規模的にみても、中程度（1,000エーカー）では維持・管理の面で高くつくと思われるので、最低（3,000エーカー）程度のものが希望されている。この米作は、小作農民を対象としているので、一人当りの耕地面積が限られてくる。約3,000人が入植するとして、そのインフラストラクチャーを考えた総合地域開発が必要となろう（家族を含めると約1万人以上）	農業	
		米作農場	湖周辺			運輸
		農業および工業：砂糖キビ栽培及び製糖工場運営に対する技術協力		農産物、特に国際競争に勝てる製品で、マーケットが近く、アルコール製造など将来のエネルギー化も可能であるような農産物生産等に対する技術協力		運輸
養蚕開発に対する技術協力		桑園の集団化を図り、稚蚕の共同飼育を行い、主産地区を確保し、将来国の主要産品として振興させていくための協力が望まれる		養蚕		
養蚕センター	プランタイヤ	栽桑・養蚕の専門家各2名位、協力隊員3名位		養蚕		

分野	案件名	所在地	説明	意見提出者	
				専門家	協力隊員
(農林業)	総合センターとして、養蚕センター設立、技術研修生の日本及び留学生の受け入れに対する資金援助		国連の中でも低開発国の類に属する方であるが、治安も安定しており、将来立派な独立国へと発展成長するためには、資金がないので、その資金を長期的に、あるいは無償のような形で援助して欲しい		養蚕
	植林	ブランタイヤ	保水・燃料用	農業	
2	水産業	水産増養殖研究所設置	マラウイ国中部		水産
3	鉱工業	井戸ポンプ製造工場	ブランタイヤ	クーラー、ヒーター	機械
		フラスナー製造工場	・		
		モーター巻き直し技術の伝授	ゾンバ	ゾンバ訓練センター	機械
		製糸センター 職業訓練所設立	ブランタイヤ ・	製糸専門家2名、協力隊員3名	養蚕 機械
4	運輸	運輸に対する資金援助		内陸国という地理的条件のために、隣接国の影響を受けやすく、往來が断続的となるため、これから脱する手段として、道路の整備と並行してザンビア、タンザニア側へのルートを開く。将来はジンバブエ方面にも向けたい	運輸
		鉄道建設に対する技術協力		現在、マラウイには、1本の鉄道しかなく、しかも、その運行は1日に2～3本。バスよりもスピードが遅いこともあつて非常に不便である。あらゆる産業の発展の要ともなる輸送手段は拡充すべきである	教師
		道路の整備舗装に対する資金援助		流通機構改善のため	統計
		道路建設	北部地区	北部地区に舗装道及びトンネルを作れば、タンザニア、ザンビア、ケニア等の交流も盛んになる	
		道路整備	マラウイ北部	リロングウエ以北	教師
	河川の改修に対する資金援助		雨期毎に氾濫する河川を現地人は「神の思し召し」としてあきらめているが、ダム・防波堤等で洪水氾濫を防止できると信ずる	統計	
5	通信	マラウイ全土通信網の拡張			教師

	分野	案件名	所在地	説明	意見提出者	
					専門家	協力隊員
6	上下水道	都市以外の地区へも、 上水道または地下の利用 できる設備				医師
7	住宅	住宅プロジェクト マラウイ住宅プロジェ クトに対する技術協力	各都市	近代めかつ低価格であること 住宅が極度に不足。庶民でも住める 様な低価格住宅を供給すること		建築 建築
8	水資源・ エネルギー	シレ川を利用してのダ ム建設に対する技術協 力 シレ川を利用した水力 発電所の設置 病院学校の所在地に発 電装置を設置		これからのエネルギー高騰時代に対 処 プランタイヤ市の電力供給が限界に きている	水産	機械 教師
9	教育	教育に対する資金援助 と技術協力 教育に対する技術協力 同上 教育施設（文房具）に 対する資金援助 大学教授に対する技術 協力		この国では小学校（8年制）、中学 校（4年制）というイギリスに似た 教育システムがあるが、多くの子供 が学校に行けない。また中学校のう ちで数多くの生徒が学校をやめてい く。なぜなら親に余裕がないからで ある。とりわけセカンダリースク ールの授業料は高すぎるので親の負担 が大きい。まず普通程度の生活を送 っている人並の授業料、つまり Term=30K≒US\$40（ちなみ にこの労働者の一ヶ月の給料は 6K≒US\$7.2）が必要である。私 は日本の援助で、日本の育英会に似 た奨学金制度をこの国に設立すれば 良いと思う 学校に行けない子供が沢山いる。教 育の機会均等に寄与できる。文房具 等の入手も困難。先生の仕事は大学 卒の人にも可能。大学卒の人は高 級で安易な仕事に流れ易い。 先生数不足 学校が少ない 文房具の入手が困難であるため 現地のレベルが低い	農業	教師 土木 教師 教師

分野	案件名	所在地	説明	意見提出者	
				専門家	協力隊員
(教育)	学校の建設に対する資金援助	マラウイ	<p>途上国が自立するには教育が第一であることを痛感した。そのため学校建設が優先されるべきと思われる。</p> <p>日本の教師・医師を派遣しなくとも、資金援助は行うべきである。援助の大本は医療と教育だと思ふ</p> <p>多くの子供達が学校に授業料を払えない理由で中途退学している。未来を担う有能な人材が、貧しさゆえ、勉強する場を追われるということは、将来のこの国にとって大きな損失である</p>		土木
	同上				土木
	奨学金制度及び(小・中)学校教育資材の購入に対する資金援助 教材援助				土木
10	医療・保健	マラウイ	<p>死亡率が高いから</p> <p>病院、医師の数が絶対的に不足している。日本の医者は何故もつと発展途上国に出ていかないのか</p> <p>日本の教師・医師を派遣しなくとも資金援助は行うべきである。援助の大本は医療と教育だと思ふ</p>		教師
医療に対する資金援助 医療及び医師の育成に対する技術援助				土木	
医療関係 医師派遣				測量 教師	
病院に対する資金援助				土木	
医薬品の供与に対する資金援助				教師	
医療機器の修理技術者養成					
11	その他				土木
	国土基本図の作成				

ザンビア在勤経験のある専門家・協力隊員が考える望ましい経済協力の分野

分野	案件名	所在地	説明	意見提出者		
				専門家	協力隊員	
1 農林業	農業に対する技術協力	国内全域	国土資源の割には開発されていない		機械	
	同上		自給自足できずに主食さえ輸入し、また作物の安定供給ができないような状態を少ないながら回避させるため		通信	
	農業に対する資金援助		広大な土地がありながらそれらを利用する方法が開発されていない。また常に食糧不足に悩まされている		通信	
	農業技術援助		農業・水産技術の専門家による指導		通信	
	農業技術に対する技術協力		国民生活の基礎充実のため		通信	
	農業開発・稲作(とうもろこし)に対する資金援助		主食がとうもろこしで大半を輸入しており、この分野での自立が急務。稲作は隣のマラウイで台湾の援助により成功している例があり、気候的にも変らないザンビアで食糧自給のため是非やつて欲しい		電子	
	農業開発				通信	
	農林に対する技術協力		土地が十分にあるにも拘わらず、技術力がないため、主食であるノーズを輸入しなければならぬから		通信	
	農林に対する技術協力		現在最も必要とされているが遅れている状況である		通信	
	農場(飼料用作物用地・牧草地)の拡大に対する技術協力		栄養改善のために家畜を増やす。水は地下水やザンベジ川、カフエ川のように大きな川を利用する		農業	
	農業試験場		チバタ		熱帯農業研究	通信
	試験農場と農業試験場建設		東アフリカ地区			通信
	チバタ地区のとうもろこし栽培		チバタ			電子
	農業				協力隊員を大幅増員	スポーツ
	灌漑施設		全土			通信
肥料・農薬の製造に対する技術協力			獣医			
農業普及訓練所	ルサカ		機械			
農業普及員制度	各地区の中心地	アフリカ大陸農業(農業をその地の気候地勢に最適な様に民衆に根付いた	通信			

分野	案件名	所在地	説明	意見提出者		
				専門家	協力隊員	
(農林業)	獣医師	ルサカまたはナムワラ	活動が目的。農業普及は発展と共に拡散させ、普及員は同時に研究員でもある必要がある)			
	獣医事務所の検査機材の整備					農業
	乳牛生産及び乳製品加工工場					農業
	模範乳製品工場および乳牛生産のためのスタッフとして獣医師、家畜飼育専門家の派遣のための技術協力	農業				
	森林開発	全域	肉牛の生産は行われているが、乳牛生産はわずかで、そのために乳製品の輸入に頼っている			通信
	獣医大学 獣医大学の設立	ザブカ	現在の訓練学校を大学にする			獣医 農業
3 鉱工業	工業(自動車・鉄道)に対する技術協力 軽工業・加工業(アルミ加工)に対する技術 ウラニウム 自動車設備 職業訓練所または技術系の学校に対する資金援助 職業訓練学校	全土 ルサカ・ウンドラ	この国は内陸国のため大量輸送には絶対必要なもの 典型的内陸国で運送のコストが高く重化学工業には立地条件が合わない 発展途上国の最大の問題は人材である ①農業コース ②通信コース		機械 電子 林業 通信 電子 通信	
4 運輸	輸送網に対する資金援助 鉄道・道路建設に対する資金援助 国内幹線道路の建設に対する資金援助		トラック輸送が完全でないために、地方と中央との格差が大きい。トラックと運手さえ揃えば、市場の整備と合わせて比較的簡単に流通機構のレベルアップに結びつき、これが農水産業界の振興に結びつくと思う 多額の資金が必要であるが、その効果は大きい 経済活動発展のために大いに役立つ		通信 通信 学者	

分野	案件名	所在地	説明	意見提出者	
				専門家	協力隊員
(運輸)	電気通信に対する技術協力		電気通信技術は人札等によつて、各国から別々の機器が入ることは保守上大変な問題である。技術者の負担が増すばかりである。将来のためにも総合的に日本がアドバイスしていくべきである		通信
5 通信	ザンビア警察無線テクニシヤントレーニングセンター	リライ(ルサカ郊外)	現在協力隊員のみで運営しているが、5年後にはザンビア人の手で運営し、後までテクニシヤン養成コースとして残したい		通信
9 教育	教育に対する資金援助 教育 義務教育制度の確立に対する資金援助 自然科学の全分野にわたつた技術協力 大学設立のための人材養成のための大学教授及び助手等の派遣に対する技術協力		また多くの子供が金、その他の理由によつて受けてい教育を受けていない 任地国から欧米に留学している青年の多くは、人文・社会・科学の分野を専攻しており、自然科学系の研究者・技術者が極端に少ない ザンビア人が獣医師になるためには外国でその免許を取らなければならず、その結果生ずる獣医師不足、さらには獣医学知識の欠乏がみられる	学者	機械 通信 通信 農業
10 医療・保健	医者の長期大量派遣に対する技術協力 ワクチン製造		人・獣のワクチン(狂犬病等)の自国での生産		スポーツ 獣医

ザイール在勤経験のある専門家・協力隊員が考える望ましい経済協力の分野

No.	分類	案件名	所在地	説明	意見提出者	
					専門家	協力隊員
1	農林業	農業開発に対する資金援助	キンシヤサ, キサングニ, ルブンバン	農業国としての経験の蓄積がモラルに影響しているように思われる	運輸	
		農業に対する技術協力		食糧不足打開と民生の安定のため	行政	
		農業開発プロジェクト		主食としての米作, 副食としての肉鶏の増産を目指す	行政	
		農業・酪農の指導・推進を図る			運輸	
		灌漑		バ、ザイール	土木	
		農業訓練所			土木	
		林業に対する技術協力			行政	
		林業開発プロジェクト	キサングニ	アマゾンに次ぐ大森林の保護・開発は次代の課題である	行政	
2	水産業	水産業に対する技術協力	キンシヤサ, キサングニ	食糧不足の打開と民生の安定のため	行政	
		水産開発プロジェクト		副食としての淡水魚の増産を目指す	行政	
		漁業の指導・推進を図る			運輸	
3	鉱工業	職業訓練所	キンシヤサ, キサングニ, ルブンバン	○電気車両整備 ○木工 ○営農 ○洋裁 ○放送 ○建築 ○医療の 各コース	行政	
4	運輸	鉄道及び道路に対する技術協力	バ、ザイール	これは段階的でもよいから、ぜひ必要である。この国は、この国の産物は他国を通さなければならぬので、いろいろ問題がある	土木	
		鉄道建設に対する技術協力		国民路線の完成がないとザイール国の発展はあり得ないため	土木	
		鉄道建設に対する資金援助		M.B. プロジェクトは資金不足のため今回橋架建設のみとなつた(プロジェクトが縮少された)	鉄道	
		鉄道建設		マタアイ — パナナ	土木・運輸	
		鉄道建設・国民路線の建設			鉄道	

分類	案件名	所在地	説明	意見提出者	
				専門家	協力隊員
(運輸)	鉄道建設に対する技術協力	イレボ—キンシャサ	ザイルにとって交通網の整備はぜひ必要である	土木	
	鉄道に対する資金援助		○866 km イレボ—キンシャサ間 ○150 km バナナ—マタデイ間 ・3000億円が必要であるから	土木	
	イレボ—キンシャサ鉄道		タンザニアのタンザン鉄道に匹敵する経済的・政治的效果がある(各国とも手をこまねいている点でもタンザン鉄道に似ている)		
	マタデイ—キンシャサの鉄道		現在あるが、日に一本程度で輸送手段にならない	土木	
	キンシャサ—ルブンバシの鉄道ルート		現在飛行機2便で少なく不正確で高い、一般ザイル人が安く行動できる輸送手段が早急に必要	土木	
9	教育		技術協力と並行して援助を行う。相乗効果があると思う	土木	
11	文化・研究			土木 運輸	
	軟式庭球	ザイル			
	軟式庭球コーチ派遣	ザイル他 アフリカ各国			
12	その他		住民の生活向上に直結する	行政	
	インフラストラクチャーに対する技術協力				

ウガンダ在勤経験のある専門家・協力隊員が考える望ましい経済協力の分野

分類	案件名	所在地	説明	意見提出者	
				専門家	協力隊員
1 農林業	米作指導 養蚕業の導入と育成 植物の育成に対する技術協力 専門家派遣 林業指導	ジンジャ 西部	太陽熱の利用 農業開発が最も必要と思うが、その専門化と協力を担当して当国の農業を大いに改善することが良いと思う	貿易 行政 保険 職訓 貿易	
2 水産業	水産指導	ジンジャ		貿易	
3 鉱工業	国内産物の製造事業に対する技術協力 技術職業センター 職業訓練所フォローアップ 工業技術者の派遣に対する技術協力		○製鉄・製鋼事業 ○製糖・製茶事業 ○織布事業 ○機械補修事業 技術職業センターを再生する努力をすべきである。現在の国情を十分調査する必要がある。供与機械等がどうなるか 職業訓練所は以前創設したが、その後の運営がどうかをフォローアップすることが先ず必要である	機械 行政 職訓 教師	
4 運輸	アフリカ横断道路上のジンジャ橋の架設に対する技術協力 道路建設訓練センター	エンテベ		行政 土木	
5 通信	テレビスタジオ建設・放送網の拡大並びに整備	カンバラ	①建物 } 50億円 ②機械 ③人材育成(建物の中に研修所を設けると共に、現場実習を) ④日本人の専門家…最低数名、20年間技術指導を続けること、短期はダメ	電子	
9 教育	教育機関に対する資金援助 教育関係者の派遣に対する技術協力			教師 行政	
11 文化・研究	動物資源保護に対する資金援助			保険	

ガーナ在勤経験のある専門家・協力隊員が考える望ましい経済協力の分野

	分類	案件名	所在地	説明	意見提出者	
					専門家	協力隊員
1	農林業	ボルタ川灌漑施設による農林業援助 農産物の増収に対する技術協力 食料増産	ボルタ川沿岸要地 アクラ	一般民衆は飢えている。その食事も満足にとれない。広大な土地に灌漑施設を作つて土壌改良すれば、必ずや食糧は増産され、飢えをなくし、民衆の健康は増進し、もつと国民は幸せになろう	繊維 医師 医療	
3	鉱工業	職業訓練校 電子技術に対する技術協力 自動車整備技術に対する技術協力 繊維技術に対する技術協力	テマ, アクラ	①自動車整備 ②電子技術 ③繊維技術 ④農業技術 我が国に比べ、電話、テレビが非常に少ない 交通機関が主に自動車であるため 広い土地を利用しないで放置してある。原綿生産として自国で糸にして製織する様にしたい	繊維 繊維 繊維 繊維	
4	運輸	輸送手段に対する技術協力 交通網の充実に對する技術協力			医師 医師	
8	水資源・エネルギー	治水（飲料水を含む）に対する技術協力			医師	
9	教育	教育に対する技術協力 小・中学校教育全般の充実に對する資金援助		次代を担う人材の育成。それが日本の理解、日本との友好に将来役立つ " "	医療 医療	
10	医療・保健	医療に対する技術協力 医療協力 病院建設（教育病院の建設）に対する技術協力	西アフリカ地区	今まで10年間も続けており、カウンターパートも育つた 現在までの医療協力で得られた検査器具、人材の確保はされてたが、ガーナの学生が将来国に残つて、よ	医療 医療 医療	

分野	案件名	所在地	説明	意見提出者	
				専門家	協力隊員
(医療・保健)	アフリカ各地区(東・西・北・中央アフリカ)に中央病院, 中央検査センターを建設		り良い研修が受けられる様に, 学生の教育病院の建設が望まれる 住民の健康と福祉の充実を図る	医療	
	ガーナ大学の医学部校舎, 付属病院, 看護婦養成所, 臨床検査技師及び医療技師養成所	アクラ		医療	
	ガーナ大学病院の建設	ガーナ大学(野口研に隣接して)	5年計画で約100億円あればよいと考えられる(敷地は用意されてある)	医療	
	病院, パラメディカル・トレーニング・センターに対する資金援助		カウンターパートが育つたので, 自らの力で現地人を教育し, 住民の健康と福祉を増進させる	医療	

エチオピア在勤経験のある専門家・協力隊員が考える望ましい経済協力の分野

分野	案件名	所在地	説明	意見提出者	
				専門家	協力隊員
鉱工業	職業訓練所の設立	アジスアベバ		土木	
上下水道	上下水道に対する資金援助			土木	
医療・保健	医療に対する資金援助		アフリカでも非常に悪い環境にあり, この点を改善しなければWHOが行なつた努力が実らない	土木	
	熱帯医学研究所の設立	アジスアベバ	ただし, テクエラ厚相がこれに関わつた場合に限る	土木	

ナイジェリア在勤経験のある専門家・協力隊員が考える望ましい経済協力の分野

	分類	案件名	所在地	説明	意見提出者	
					専門家	協力隊員
1	農林業	林業・林産	大体全国	ゴム等一部を除き放置してある。 プライウッド工場があるが相雑	通信	
3	鉱工業	探鉱 職業訓練所に対する技術協力	全国	石油以外未発見の鉱物が多い 技術・技能者が欠けており、自分で自分の国を作る意識が少ない	通信 電気	
4	運輸	運輸（鉄道の建設）に対する技術協力 運輸に対する資金援助 鉄道に対する技術協力		当分野は非常に遅れており、開発に際しての基本となるものである 近年油田の開発により資金が楽になつた様であるが 新幹線等の導入で交流が活発になる	電気 電気 電気	
5	通信	通信（施設の拡充）に対する技術協力 通信に対する技術協力 通信に対する資金援助		当分野も非常に遅れており、開発に際しての基本となるものである 官庁間（地方）や航空ですら連絡の不十分	通信 電気 通信	
8	水資源・エネルギー	治水に対する技術協力 電力に対する技術協力 同上 電力設備等に対する技術協力		乾燥地帯の農業が発展する プロジェクトの立案を外国にまかせているので、輸入されるものがばらばらであり、彼らのものになつていない 未点灯都市町村が沢山あり希望されている 立案を外国に任せているので規格がばらばら。保守運用面で将来禍根を残し、不信につながる	電気 電気 電気 電気	
10	医療・保健	医学（研究と医療）に対する技術協力 医学教育研究に対する技術協力 衛生に対する技術協力 病院または研究所の設立に対する資金援助		最も実施しやすいし、それなりの成果をあげることができる 人材を集めやすい 多産で死亡率大、し尿処理施設がない 現地人の技術のレベルアップと一般住民の福祉につながる	医師 教師 通信 医師	

分野	案件名	所在地	説明	意見提出者	
				専門家	協力隊員
(医療・保健)	ジョス大学に中央臨床研究部を作る			教師	
	ジョス大学医学部に対する医療援助		学長・学部長が強く希望している	医師	
	医学研究所(感染症・栄養学)			教師	
	寄生虫・微生物学に対する技術協力		日本には過去に経験があり、計画を立てやすい、感染症で苦しんでいる人が多い	教師	
文化・研究	研究に対する資金援助		日本と異なり研究者は自分で研究費を獲得しなければならない	教師	

中央アフリカ在勤経験のある専門家・協力隊員が考える望ましい経済協力の分野

	分野	案件名	所在地	説明	意見提出者	
					専門家	協力隊員
1	農林業	棉花栽培			鉦山	
3	鉱工業	紡績			鉦山	

象牙海岸在勤経験のある専門家・協力隊員が考える望ましい経済協力の分野

	分類	案件名	所在地	説明	意見提出者	
					専門家	協力隊員
2	水産業	魚・エビの養殖場を作る	アビジャン		水産	

リベリア在勤経験のある専門家・協力隊員が考える望ましい経済協力の分野

	分類	案件名	所在地	説明	意見提出者	
					専門家	協力隊員
1	農林業	農産加工訓練所の設立 に対する技術協力		農産物の加工学が未発達なため	農業	
10	医療・保健	医療検査員養成所設立 に対する技術協力	リベリア		農業	
11	文化・研究	文化財保存施設に対する 資金援助 熱帯生物学研究所	リベリア	文化財の流出が極めて多く、その保 存のための施設が必要である ○医学コース ○植物学コース ○動物学コースを作る	農業 農業	

マリ在勤経験のある専門家・協力隊員が考える望ましい経済協力の分野

	分類	案件名	所在地	説明	意見提出者	
					専門家	協力隊員
1	農林業	農業に対する技術協力		水源不足が致命的な問題であり、水利を進めまず農業を振興させるべきである	行政	
12	その他	食糧供与に対する資金援助		西ドイツ等が継続的に行なっている。食糧援助は人道主義に基づくものであるという受け止め方で歓迎されている	行政	

モーリタニア在勤経験のある専門家・協力隊員が考える望ましい経済協力の分野

	分類	案件名	所在地	説明	意見提出者	
					専門家	協力隊員
1	農林業	一大農場地帯を作る		ヌアタイプより東方 200~250 km のサバンナ	水産	
		セネガル川流域の農業開発			水産	
2	水産業	漁業基地	チミス周辺	日本の援助の冷蔵庫、漁民訓練センターの稼働資金がないこと	水産	
		水産プロジェクトに対する資金援助 協力隊の派遣	ヌアタイプ		漁具・漁法… 2名, 水産加工… 1名 漁船エンジン… 1名, 冷凍機… 1名	水産
3	鉱工業	鉄鉱山に対する資金援助		旧スペイン領サハラ独立問題から従来の鉄鉱区がダメージを受け、新鉄鉱区の堀削開始が急務であり、鉄鉱公社も株を公募しているが、まだ必要な資本が集まっていない。資源の分散確保の意味からも、資本参加は相互に利すると思う	水産	
4	運輸	首都との道路建設			水産	
		飛行場(砂漠)の建設による観光資源の開発			水産	
9	教育	初等教育に対する技術協力		国民の大部分が文盲であり、初等教育のための施設・教育者共に乏しい	水産	

ニジェール在勤経験のある専門家・協力隊員が考える望ましい経済協力の分野

	分類	案件名	所在地	説明	意見提出者	
					専門家	協力隊員
1	農林業	農業技術指導(米作)に対する技術協力 農業機材の無償援助に対する資金援助		米作の品種改良, 小規模農業に優れているから	鉦山 鉦山	

ルワンダ在勤経験のある専門家・協力隊員が考える望ましい経済協力の分野

	分類	案件名	所在地	説明	意見提出者	
					専門家	協力隊員
1	農林業	農業開発 農業協力(野菜・稲)	全国 ギセニ	台湾が米作, 甘蔗の指導をしていたが, 1971年に引上げたため, その後の指導をする	機械 運輸	
2	水産業	養魚	キガリ		運輸	
3	鉱工業	職業訓練所に対する資金援助 職業訓練所	 ギセニ		運輸 運輸	
4	運輸	運輸に対する資金援助 バス交通網の維持 道路建設 道路建設に対する資金援助	 キガリ	5億円以内, 無償供与または円借とする 円借にてバス70台を入れたが, これを継続援助するもの キガリ—ルネンガ, キガリ—ブタレ 機械・技術者・資材・車両等は無償3億円以内 ○直接資材(アスファルト, 岩石, 砂利, セメント等) ○現地調査 ○簡易舗装, アスファルト, コンクリート ○砂利道路 等	経営・運輸 機械 運輸 経営・運輸	
5	通信	通信に対する資金援助 無線電話		5億円以内の無償か円借とする キガリ—(ギセニー, ルーヘンゲリ, ブタレ, チヤンググ, ギブンゴ, ビュンバ)	経営・運輸 運輸	

セネガル在勤経験のある専門家・協力隊員が考える望ましい経済協力の分野

	分類	案件名	所在地	説明	意見提出者	
					専門家	協力隊員
I	農林業	農業技術者派遣、灌漑施設	南部		機械	
4	運輸	港湾設備	主要漁村	波を防ぐためのものでもよい(テトラポット等を利用)	機械	
11	文化・研究	屋内体育館の建設に対する資金援助 専門家の長期の継続的派遣に対する技術協力		現在、任地国では、屋内体育館はなく、柔道でも大会や試合を屋外で実施するので、日中は40度位になり、足裏の皮がむけてしまい、夜になれば、夜露で滑り、思うように技が施せない状況である。 ○フランスは西アフリカを巡回しながら25年間滞在している ○1昨年まで続いた専門家派遣が中止されたので、文化やスポーツは気ながに継続してもらいたい	柔道 柔道	

ソマリア在勤経験のある専門家・協力隊員が考える望ましい経済協力の分野

分類	案件名	所在地	説明	意見提出者	
				専門家	協力隊員
2	水産業 漁業調査船 魚貝スーパーマーケット	モガディシュ #	冷凍ショーケースと冷凍輸送システムだけでも	水産 水産	
3	鉱工業 脱塩プラント	ブラバ, ア ダレ, エル アハメド, エイル		水産	
4	運輸 ブラバ港再建設	ブラバ	戦時中の爆撃で破壊	水産	
11	文化・研究 日本文化センターに対する技術協力		知識階級でさえ日本を理解していない。米, 仏, 英, 伊等はこうした地味な活動をしている。 中国は劇場, 総合競技場を, 朝鮮人民共和国は高等技術学校を建設した	水産	
12	その他 難民救済に対する資金援助		最も人道的援助である 民衆レベルに強い影響を与えるであろう, 殊に少年層に好ましいイメージを与え, 一世代後の友好の基礎となるであろう	水産	

スワジランド在勤経験のある専門家・協力隊員が考える望ましい経済協力の分野

分類	案件名	所在地	説明	意見提出者	
				専門家	協力隊員
3 鉱工業	工業に対する技術協力		企業数少く、失業者は人口の80多位；色々な犯罪も食えないことから起つている。一般は、とうもろこしの粉を主食として1日1Rand (300円)位で食べている人が大半、平均寿命47～8才ということば栄養不足である	経営	
	国営炭鉱開発	スワジランド 炭田北部		鉱山	
	時計工場の誘致	工場用地	(工業大臣提案)企業と私とのやりとりでは、なかなかちががかない。日本政府からの斡旋を希望する	経営	
	その他の企業誘致の斡旋		開発公社では日本のいかなる企業でもよいとしている。南アにないものが有利である	経営	
	職業訓練所	スワジランド	5～6名の専門家派遣	鉱山	
	石炭産業訓練所		○石炭探掘 ○炭鉱機械 ○炭鉱電気 等の各コース	鉱山	
	フババネ地区に訓練所を作る	フババネ		通信	
9 教育	教育に対する資金援助		今年から国民皆教育を目指す、しかし校舎、教師の手当が必要、字の書ける人(英語)は10多位か	経営	
	大学工学講座に対する技術協力		総合的な物の見方の教育が必要。個々の技術の知識だけでは産業は成り立たない	鉱山	
	講座開設に対する資金援助			鉱山	
10 医療・保健	医療に対する資金援助		国立病院は2ヶ所しかなく、医師も不足。目下、韓国、インドの医者が主力、私立病院は割合にあるが、高くて庶民は行かれない。外人が殆んど。(但し、風土病、伝染病は殆んどない。一般的にアフリカとは異なる。結核は多いと聞く)	経営	
	同上		○医療機関の不足 ○看護婦の水準は非常に低い(衛生思想の欠陥)にも拘わらず、エリート職業であるため威張つて仕事をしない	鉱山	

分類	案件名	所在地	説明	意見提出者	
				専門家	協力隊員
(医療・保健)	医療に対する資金援助 病院建設に対する資金援助		一般市民用の政府機関関係の病院での医者が不足している 近代設備を有する病院がなく、死亡率が非常に高い		通信

資料Ⅲ 国別優先度指標の作成

資料Ⅰ 国別優先度指標の作成

サハラ以南のアフリカ諸国に対する日本の経済協力供与の際の参考となるような国別優先度指標は、次の様にして作成された。

少数の指標でもって国別優先度を示すために、日本とアフリカ諸国との経済関係を示す多数の統計指標のなかから、最終的に次の五つの指標が選定された。

- ① 日本の当該国への輸出額
- ② 日本の当該国からの資源輸入額
- ③ 日本の当該国への投資（民間）額
- ④ 日本の当該国へのODA供与額
- ⑤ 当該国における日本人長期（三ヶ月以上）滞在者数

上記五つの指標によって、二国間の経済関係の基本的構成要素である“商品”、“資金”および“人”の三要素の流れがほぼカバーされる。

1977年における日本とアフリカ諸国との関係をこれらの指標を用いて示したものが、次の表である。

五指標による日本とアフリカ諸国との関係（1977年）

指標	輸出 (千ドル)	資源輸入 (千ドル)	投資 (千ドル)	ODA (百万ドル)	長期滞在者 (人)
モーリタニア	7,913	26,644	4,263	2.2	27
マリ	2,553	9,322	0	0.2	52
ニジェール	3,035.2	380	4,337.5	10.4	49
ナイジェリア	1,009,534	19,920	129,373	10.9	1,164
セネガル	4,471	12,752	6,481	1.2	112
ガンビア	2,846	0	1,802	0.4	1
ギニア	9,299	0	7,332	0.5	5
ギニア・ビサオ	250	0	0	0	3
シエラ・レオーネ	11,769	0	0	0	5
リベリア	4,224.9	11,198	0	4.8	41
象牙海岸	1,06,944	84,876	5,706	0.2	133
ガーナ	58,169	125,525	1,081	3.0	131

指標	輸出 (千ドル)	資源輸入 (千ドル)	投資 (千ドル)	ODA (百万ドル)	長期滞在者 (人)
トゴ	8,700	1,379	0	0.1	3
ベナン	19,503	5,808	0	0.1	2
カメルーン	44,064	23,392	1,536	0.1	8
赤道ギニア	17	0	0	0	0
チャード	1,576	18,170	0	0	1
エチオピア	63,126	32,258	6,831	1.6	58
ソマリア	1,938	6,153	0	0	7
中央アフリカ	2,293	7,319	0	0	9
ガボン	18,636	7,038	19,021	2.4	24
コンゴ	5,476	6,476	0	0	5
ザイール	37,005	77,249	23,271.4	2.5	182
ウガンダ	21,491	36,616	547	0.7	30
ケニア	142,679	17,161	7,600	4.8	551
タンザニア	68,213	18,692	4,780	2.4	143
アンゴラ	37,852	10,304	0	0	6
ザンビア	36,448	186,453	44,433	0.8	103
マラウイ	18,049	819	0	1.1	97
ルワンダ	13,219	3,840	67	0.4	0
ブルンディ	3,682	239	0	0	1
サントメ・プリンシペ	132	0	0	0	0
ボツワナ	951	263	0	0	0
モザンビーク	16,209	36,895	0	2.1	61
マダガスカル	13,928	36,470	6,508	2.0	97
モーリシャス	28,148	0	847	0.2	21
スワジランド	1,446	30,108	1,963	0.1	19
レソト	44	20	0	0	0

(注1) 参考資料：「通商白書」(1977年度版，通産省)，「日本貿易月表」(1977年度版，日本関税協会)，「経済協力の現状と問題点」(1977年度版 通産省)「海外在留邦人数調査統計」(1978年度版，外務大臣官房領事移住部領事第二課)

(注2) 資源輸入の資源のなかには，農水産，繊維原料，金属原料，その他の原料品および鉱物性燃料のほかは，金属製品も含まれている。

(注3) リベリアの便宜置籍船制度の影響を排除するために，日本のリベリアへの輸出額は船舶輸出を除いたものとした。また同様の理由で日本のリベリアへの投資額はゼロとした。

前記の表における最高値を5.0000として作成されたのが次の表である。但し，“日本の当該国への輸出額”の項では，ナイジェリアの教値が極端に高いので，第二位のケニアを5.0000としている。

国別優先度判定表

指標	①輸出	②資源輸入	③投資	④ODA	⑤長期滞在者	計(得点)	順位
モータニア	0.2770	0.7141	0.0912	1.0092	0.1160	2.2075	15
マリ	0.0894	0.2498	0.0000	0.0917	0.2234	0.6543	25
ニジェール	1.0623	0.0102	0.9282	4.7706	0.2105	6.9818	6
ナイジェリア	35.3337	0.5339	2.7686	5.0000	5.0000	48.6362	1
セネガル	0.1565	0.3418	0.1387	0.5505	0.4811	1.5299	19
ガンビア	0.0996	0.0000	0.0386	0.1835	0.0043	0.3260	30
ギニア	0.3255	0.0000	0.1569	0.2294	0.0215	0.7333	24
ギニア・ビサウ	0.0088	0.0000	0.0000	0.0000	0.0129	0.0217	35
シエラ・レオーネ	0.4119	0.0000	0.0000	0.0000	0.0215	0.4334	27
リベリア	1.4787	0.3001	0.0000	2.2018	0.1761	4.1567	10
象牙海岸	3.7430	2.2747	0.1221	0.0917	0.5713	6.8028	7
ガーナ	2.0359	3.3641	0.0231	1.3761	0.5627	7.3619	5
トゴ	0.3045	0.0370	0.0000	0.0459	0.0129	0.4003	28
ベナン	0.6826	0.1557	0.0000	0.0459	0.0086	0.8928	22
カメルーン	1.5422	0.6269	0.0329	0.0459	0.0344	2.2364	14
赤道ギニア	0.0006	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0006	38

指標	①輸出	②資源輸入	③投資	④ODA	⑤長期滞在者	計(得点)	順位
チャード	0.0552	0.4870	0.0000	0.0000	0.0043	0.5465	26
エチオピア	2.2094	0.8645	0.1462	0.7339	0.2491	4.2031	9
ソマリア	0.0678	0.1649	0.0000	0.0000	0.0301	0.2628	32
中央アフリカ	0.0803	0.1961	0.0000	0.0000	0.0387	0.3151	31
ガボン	0.6523	0.1886	0.4070	1.1009	0.1031	2.4519	13
コンゴ	0.1917	0.1736	0.0000	0.0000	0.0215	0.3868	29
ザイール	1.2952	2.0703	5.0000	1.1468	0.7818	10.2941	2
ウガンダ	0.7522	0.9813	0.0117	0.3211	0.1289	2.1952	16
ケニア	5.0000	0.4599	0.1626	2.2018	2.3668	10.1911	3
タンザニア	2.3875	0.5009	0.1023	1.1009	0.6143	4.7059	8
アンゴラ	1.3248	0.2761	0.0000	0.0000	0.0258	1.6267	17
ザンビア	1.2757	5.0000	0.9509	0.3670	0.4424	8.0360	4
マラウイ	0.6317	0.0219	0.0000	0.5046	0.4167	1.5749	18
ルワンダ	0.4627	0.1029	0.0014	0.1835	0.0000	0.7505	23
ブルンディ	0.1289	0.0064	0.0000	0.0000	0.0043	0.1396	33
サントメ・プリンシペ	0.0046	0.0000	0.0000	0.0000	0.0000	0.0046	36
ボツワナ	0.0333	0.0070	0.0000	0.0000	0.0000	0.0403	34
モザンビーク	0.5673	0.9888	0.0000	0.9633	0.2620	2.7814	12
マダガスカル	0.4875	0.9774	0.1393	0.9174	0.4167	2.9383	11
モーリシャス	0.8452	0.0000	0.0181	0.0917	0.0902	1.0452	20
スワジランド	0.0506	0.8069	0.0420	0.0459	0.0816	1.0270	21
レソト	0.0015	0.0005	0.0000	0.0000	0.0000	0.0020	37

これを順位別に並べると、次の様になる。

1位	ナイジェリア	14位	カメルーン	27位	シエラ・レオーネ
2位	ザイール	15位	モーリタニア	28位	トーゴ
3位	ケニア	16位	ウガンダ	29位	コンゴ
4位	ザンビア	17位	アンゴラ	30位	ガンビア
5位	ガーナ	18位	マラウイ	31位	中央アフリカ
6位	ニジェール	19位	セネガル	32位	ソマリア
7位	象牙海岸	20位	モーリシャス	33位	ブルンディ
8位	タンザニア	21位	スワジランド	34位	ボツワナ
9位	エチオピア	22位	ベナン	35位	ギニア・ビサオ
10位	リベリア	23位	ルワンダ	36位	サントメ・プリンシペ
11位	マダガスカル	24位	ギニア	37位	レソト
12位	モザンビーク	25位	マリ	38位	赤道ギニア
13位	ガボン	26位	チャード		

この判定表における順位および得点は、それが1977年という一年間だけの実績に基づいているにすぎないこと、また、各指標間に何らのウエイト付けもなされていないことなど多く制約を受けているものである。したがって、ここで示された国別優先度が大枠として妥当ものといえるにしても、なお一層の国別優先度指標の精緻化が必要である。

JICA

